

# 長野県SDGs推進企業登録制度の登録状況等について

産業労働部 産業政策課

## 1 登録者数（令和元年5月20日～令和3年9月30日まで）

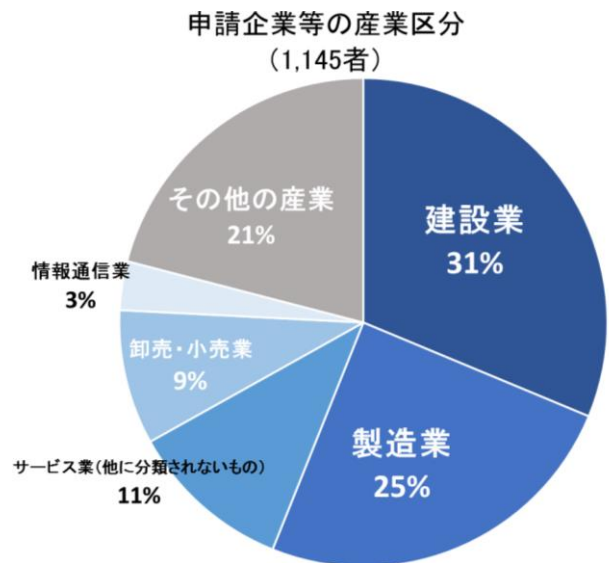
1145者

【内訳】

- 第1期・・・80者（令和元年5月20日から6月末まで）
- 第2期・・・82者（令和元年7月1日から9月末まで）
- 第3期・・・70者（令和元年10月1日から1月10日まで）
- 第4期・・・145者（令和2年1月11日から3月末まで）
- 第5期・・・101者（令和2年4月1日から6月末まで）
- 第6期・・・69者（令和2年7月1日から9月末まで）
- 第7期・・・106者（令和2年10月1日から1月12日まで）
- 第8期・・・143者（令和3年1月13日から3月31日まで）
- 第9期・・・176者（令和3年4月1日から6月30日まで）
- 第10期・・・173者（令和3年7月1日から9月30日まで）

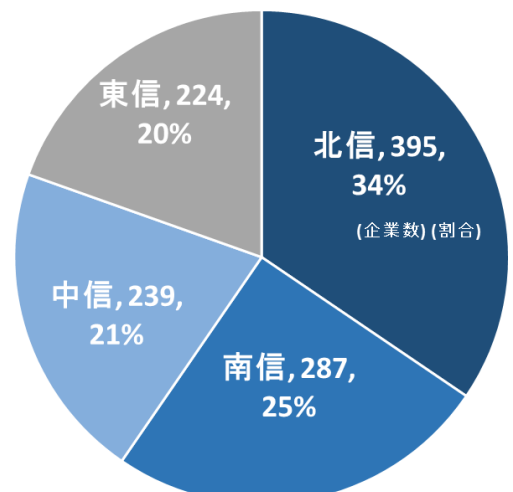
## 2 産業区分 ※登録上の産業区分とは、主たる業務内容について、申請者が日本標準産業分類の大分類により区分したもの

業種	登録者数	構成比
建設業	358	31.3%
製造業	284	24.8%
サービス業(他に分類されないもの)	124	10.8%
卸売・小売業	102	8.9%
情報通信業	37	3.2%
金融・保険業	31	2.7%
宿泊業、飲食サービス業	36	3.1%
学術研究、専門・技術サービス業	31	2.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	29	2.5%
複合サービス事業	22	1.9%
医療・福祉	22	1.9%
農業	15	1.3%
林業	11	1.0%
教育、学習支援業	12	1.0%
運輸業、郵便業	11	1.0%
生活産業サービス業、娯楽業	9	0.8%
不動産業、物品賃貸業	5	0.4%
分類不能の産業	4	0.3%
漁業	1	0.1%
鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.1%
計	1145	100.0%



## 全申請者の事業所等の所在地域(1,145者)

## 3 地域別の申請状況

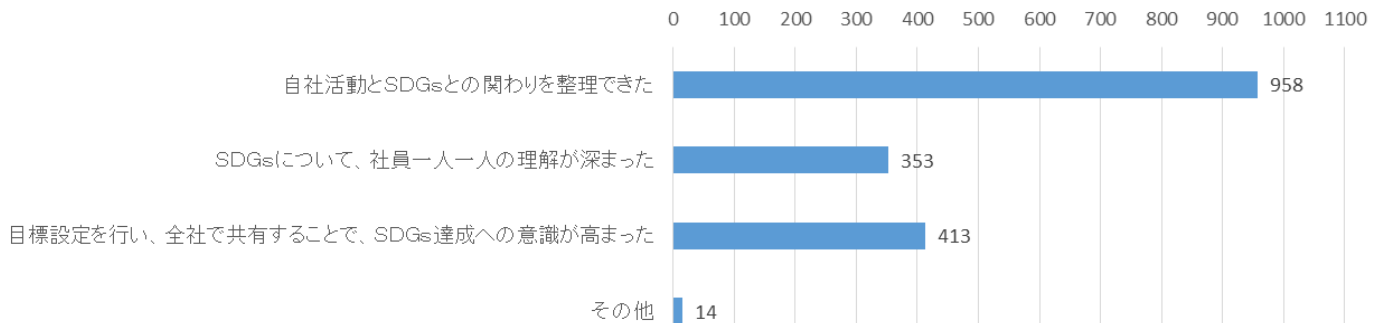


## 4 アンケートの結果 (いずれも複数回答)

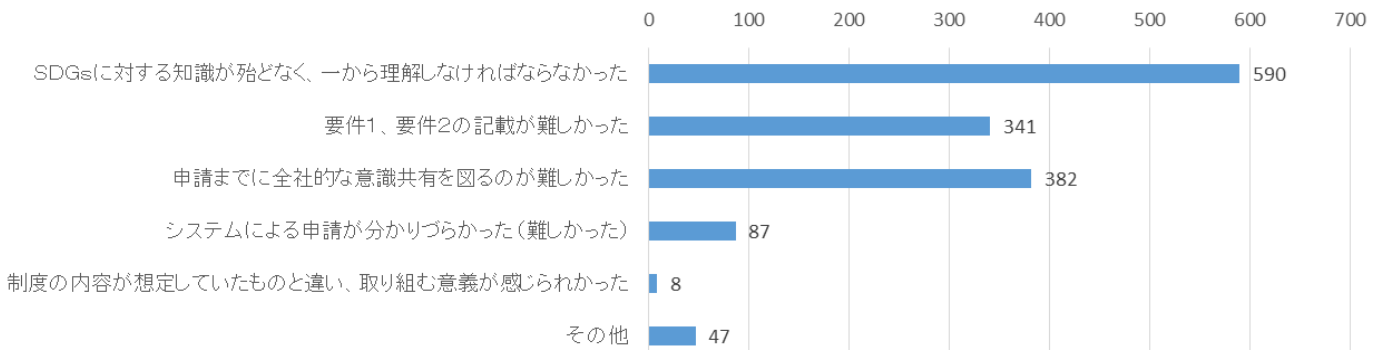
回答対象者 1,145 者

有効回答数 1,067 者 (回答率 : 93.2%)

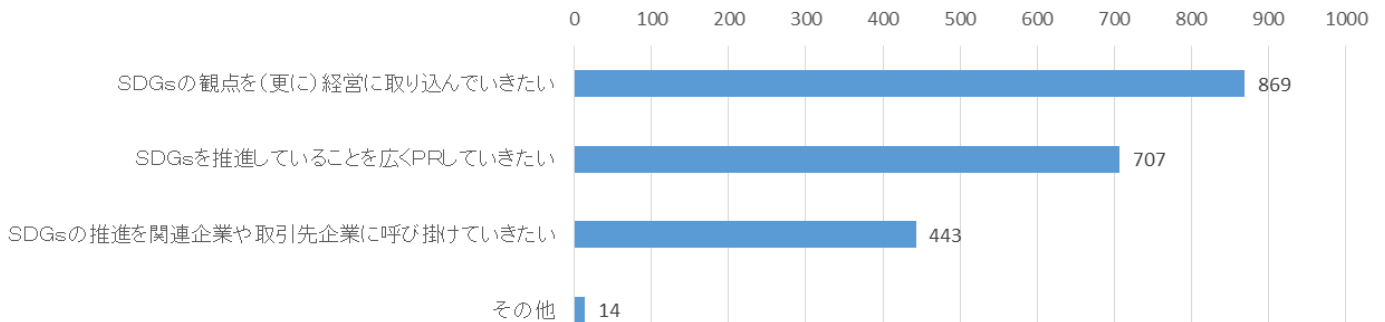
### Q1: 登録申請の段階で、取り組んで良かったと思われる点はどのような点ですか (者)



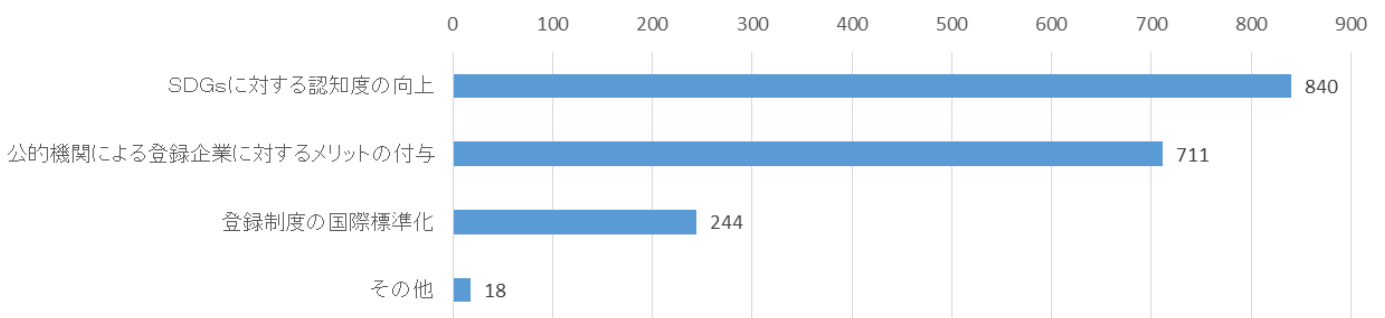
### Q2: 登録申請の段階で、困った点などはありましたか (者)



### Q3: 登録企業として、今後、どのように取り組んでいきたいと考えていますか (者)



### Q4: 今後、登録制度へ期待することはどんなことですか (者)



## 5 登録制度や県のSDGs施策について（自由記述欄）から抜粋

### 【令和3年度登録】

- ・県内入札制度に応募できる一つの基準とする（登録してある企業が参入できる様にする）
- ・SDGs先行県の長野県として基準設定し、全国へ向け発信してはどうでしょうか
- ・SDGsについて理解を深めることができ、社内で取り組みの意義目標が共有できた。社内全員で環境の保護改善、全ての人が健康で幸せに過ごせることができるよう行動する決意です。
- ・モニタリングを複雑にしないほしい。
- ・企業としての取組を見直すことができ、社内でもSDGsに取り組む意味を理解しながら、環境、世界平和についても考えることができました。
- ・他県の業者に先んじて登録できたことが今後の強みとなると思います。いずれはどの企業も取り組まなければいけないことをいち早く勉強できてよかった。
- ・SDGsに関してのセミナーや勉強会の機会をもっと増やしていただけるとありがたい。
- ・登録企業の中でアクティブに活動している企業を参考にしたいので紹介してほしい。また、そういった企業とコラボしたイベントや取組を行えるような仕組みづくりを行ってほしい。
- ・持続可能な社会を作り、地球環境の改善、働く人達が生き生きとした社会の構築を通して、未来の人類へ少しでも貢献できるよう努力し、社員と一緒に諦めずにSDGsを勉強・実行し続けます。
- ・登録企業同士の意識向上のための交流の場があれば嬉しい。
- ・県や大手企業が核となり中小企業の良い点を引き出して牽引してほしい。
- ・地球全体の課題の解決策としてSDGsが提唱されているので、県内事業者は義務化くらいの意気込みで取り組んでほしい。
- ・我々のような企業でも地域社会に貢献していることを改めて強く再認識し、社員が会社で働く意義や誇りをもてる、大変良い取り組みだと感じました。認知度の向上や登録企業に対するメリットなど、行政サイドからも積極的に取り組んでいただき、意欲的に取り組む企業に対し、追い風を吹かせていただきたいと思います。
- ・この取り組みを通じて長野県のお客様との共通テーマで長期的な経営課題に取り組んでいきたいです。
- ・社内への認識をより高めるためには個々の会社に応じた勉強会などわかりやすく行う必要があると思います。登録制度では、そのようなバックアップを費用面も含めてもっと行ってもらいたいと思います。
- ・企業の社会的責任を自覚していきながら、未来に責任なる行動を全社にて取り組んでいきたい。
- ・SDGsの取り組みは何となく理解していたつもりでしたが今回登録する為の要件1、要件2のチェック項目の多さに驚き、取り組みの重要性を感じました。今後多くの人たちにSDGsの取り組みの必要性和意識改革を推進していく為に努力していきます。

## 【令和2年度登録】

- ・登録する過程で、具体的にどんなことに取り組んでいったらよいかなど SDGs が身近に感じられよかった。
- ・弊社のビジョンと施策は SDGs に完全一致、具体的には社会の問題を社会の力で解決する未来を創ることを目指し、企業として社会活動団体の支援に取り組むことを主事業としています。
- ・建設業に於いての官民一体型女性登用の推進をお願いします。
- ・是非、登録企業と非登録企業の差別化をさらに色濃くしていただきたいと思います。
- ・未来につなぐ役を持つ今の子供たちも分かる具体的な県民運動の展開をお願いします。
- ・県のSDG s 担当者や登録企業との意見交換や交流の場が多くあると良いと感じています。
- ・SDG s の推進は自社だけで取り組んでも意味がなく、県や国、市町村とも連携しやすい様に各方面へ働きかけを積極的に行っていただきたいと思います。
- ・登録によって得られたネットワークを幅広く生かしたい。
- ・長野県産材を使った新商品を積極的に開発していきたい。
- ・登録企業間のネットワークや協働のアクションを起こしやすい仕組みを期待します。
- ・今回申請内容に基づき自社の企業としてのレベルアップに取り組む所存であります。
- ・登録企業同士の意見交換会やイベント等を行っていけば企業だけでなく一般の方々にもSDG s の輪が広がっていくと思います。
- ・国際社会の課題や環境問題といった大きな命題に対して、一企業として具体的に何ができるかを見直し、今後意識して行動するきっかけにしたい。
- ・登録書式を記入する事で社内の問題点を客観的に分かり、目標設定する事により周辺整備の必要性が理解できました。取引先や知人の会社にSDG s を考える機会を勧めてみたい。
- ・SDG s 企業の関連した商品などを周知して頂けるシステムがあれば有難い。
- ・公的機関によるメリットの付与は必須と考えます。
- ・どの取組でも良いから自分の取り組めることから実践して見る。できる範囲で無理しないで取り組むことが自然にできるコツかもしれません。
- ・企業活動の規模や形態も、それに応じて変化しなくてはならず、これらのことの社会的浸透のために、県には一層のPRをお願いしたい申し上げます。
- ・登録者同士での情報交換や交流の場を設けていただきたい。
- ・自社のBCP対策を見つめなおす観点で意義深いものだった。
- ・具体的な企業活動と推進テーマの連携による相乗効果が出る仕組みを早急に構築して欲しい。
- ・SDG s に向けた具体的な一歩を踏み出すことが出来ました。さらに深く事業計画とSDG s を一体化させ、全社的な認識と行動へと拡大させていきたい。
- ・定期的に活動報告を行い、成功事例を水平展開するようなことが必要と考えます。
- ・経世済民+SDG s がこれからのスタンダードと考えます。
- ・弊社は環境に係る業務を行っており、SDG s を柱に経営理念も変えていこうと考えております。
- ・今後は社員一人一人への更なる理解と意識共有を図り、パートナー会社及びお客様へSDG s 推進のPRを広くしていきたいと思います。
- ・誰でも登録可能ではなく、一定基準を設けた方が良いかと思えます。
- ・まだまだ認知度が少なく登録制度の情報が少ないように思えます。
- ・中小企業にとって一見難しそうなSDG s への取り組みを、簡潔なフレームワークにしていた

けた点は、非常に助かりました。

## 【令和元年度登録】

- ・国や他県からも、県のこの取り組みが認知されるようになってほしい。
- ・企業のCSRの方向性（カテゴリ）が明確になる。ただ、全項目が必須事項というのはハードルが高い企業や業種もあると思う。
- ・だれ一人取り残さないというSDGsの理念の広報を強く、継続的にやっていただきたいです。
- ・企業活動がSDGsと関わりが深かったことを理解したり、整理できたことは大変良い機会となりました。
- ・会社の現状と課題・開発目標が客観視でき、運営面での気付きも多く、極めて有意義であった。一方、SDGsの理解により、企業の取組や事業展開に大きな差が出ている現状があり、引き続き認知度の向上にご努力頂きたい。更に、登録の具体的取組内容などを吟味して、優良・独創的な企業を選択して、開発プロジェクトの編成、県事業とのコラボなど、県内企業の技術・能力・エネルギーを生かしてほしい。
- ・登録時のゴール設定の条件など難易度が高いものもあり、社内浸透の際に無理が出てきてしまいます。結果的に進めていけるのかどうか疑心暗鬼の中での申請でした。
- ・県と市町村ではかなり温度差があると感じますので、県、市町村、大企業、中小企業、個人でパートナーシップを組んで目標達成のための推進が必要です。
- ・企業価値を上げることにもつながっていると感じています。
- ・SDGsを標榜するだけでなく、日常的に取り組んでもらうために、ローカルメリットクラブ（長野県に密着した福利厚生サービス）で地元店を意識的に利用して欲しい。
- ・自社の企業活動、取組をSDGsに結び付け整理することができ、に大いに役立ちました。
- ・SDGsの考え方を取り入れた経営をしていないと取引ができないようになってきた。
- ・なんのために生きているのか、なんのために経営しているのか、なんのために事業をしているのか、SDGsの取り組みから学ぶことはたくさんあると感じています
- ・長野県が全国に先駆けてSDGsの推進に取り組むことに大変意義を感じております。
- ・県内企業や行政機関、教育機関、地域医療と連携し、地域の社会的活動へと発展させていきたい。
- ・SDGsの観点から自社が出来ている事、いない事、これから取り組むべき事が整理できました。
- ・経営戦略、経営計画の作成時に役立ち、また、経営戦略や経営方針を社員に認識させる道具として使える。中小規模規事業所での使い方をアピールして貰えると認知度向上に貢献できると思う。
- ・県内企業、各種団体へのPRをお願いします。また、県内学校への出前講座も必要かと存じます。
- ・当社もCSRにつなげていき、本業を活かして課題解決に進んでいく覚悟です。
- ・まだまだ認知度が低いので、自社からも幅広い年代の人へ向けてアピールをしていきたい。
- ・どのように取り組んで行けば良いか迷っていたところにこの制度があり、非常に助かりました。
- ・制度に登録することで社内への協力依頼もしやすくなりました。
- ・社内でのSDGsの理解は初歩段階です。今後社内教育を通じて有効的な活動に繋がっていきます。
- ・県として2030年になったら、1人1人が生き活きし、希望溢れる社会となるようにして欲しい。
- ・先進的自治体であることから、SDGsに取り組む企業増加のため全県的な施策展開、また中小企業事業者に対しては経済的なメリットの付与が効果的であると思います。
- ・登録がゴールではないので、登録制度を受けた企業等によるコラボレーションや交流会の開催を県が主導して実施してほしい。

- ・「気候非常事態宣言」「長野県SDG s 推進企業登録制度」などを市町村レベルにどのように啓発していくか。商工会議所、商工会などへの働きかけが重要。
- ・登録企業へのメリットや新規ビジネスの展開などを検討いただきたい。
- ・登録企業間の情報交換会、勉強会を開催して頂きたい。
- ・長野県にお越しになる観光客・子供たちへのプログラム構築を検討していただきたい。
- ・SDG s へ参加する事で企業の社内に対しての責任が明確になり、社員の企業活動のモチベーションを上げる効果が期待出来る。
- ・企業活動において、生産性、効率等の指標だけではなく、自然との共存の視点が必要である。
- ・登録制度を通し、取組に対するプロセスや活動方針が具体的かつ現実的なものとなったことが大きなメリットであった。
- ・企業登録制度はSDG s を企業に取り入れるツールとして取り組みやすい。企業がSDG s を行っていると公表する上で整備しておかなければならない項目が分かる。